

第 16 回 全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会の開催にあたって

テーマ：私立大学附属のもと新しい人間を育む～生涯学習を目指して～

わが国の平均寿命は 80 年を超え、一人ひとりが充実した人生を送ることが大切になってきています。生涯にわたり学び続けること、自由な時間をいかに過ごすかが鍵となります。中学校・高等学校の 6 年間はそれらの糸口を捜し、見つける貴重な時間となってくるはずです。そのような人たちが集うことで力強い社会が生まれてくるものと確信します。世界で蔓延するさまざまな不安を解消し平和な社会を構築すること、日本では東日本大震災からの一刻も早い復興が期待されています。このような時代に建学の精神に鑑み、たくましく生きていく人間を育てて行くことが私立大学附属・併設校の使命のひとつであると考えます。

日本女子大学附属中学校・高等学校は 1901(明治 34)年、当時の日本女子大学校設立と同時に附属高等女学校として成瀬仁蔵が開校しました。戦後、新制の中学校・高等学校となり、東京目白・神奈川西生田にそれぞれ分かれていた学校が、1979(昭和 54)年から西生田の学び舎で共に生活することとなりました。私ども学園は今年で創立 110 年となります。「自念自動」の教育理念のもと幼稚園から大学・大学院までの一貫教育並びに生涯学習についても、開学と同時期から力を入れ取り組んできており 100 年以上の伝統があります。

このたび、多摩丘陵にある西生田キャンパスを会場として、第 16 回全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会（附属校サミット）を開催することとなりました。11 ある分科会やパネルディスカッションなどを通して、私立大学附属・併設校の先生方と生涯にわたって学び続けることのできる「新しい人間」を育むためにはどうすればよいかを考えていきたいと思えます。

日本女子大学附属中学校・高等学校

◆ プログラム

11月12日(土)

時 間	内 容
10:00～10:50	公開授業
11:10～11:50	公開授業に関する意見交換会
11:50～12:50	昼食・休憩（12:00～ 本教育研究集会実施連盟総会 於中高校舎 会議室）
12:50～14:20	① 大学附属校における「自校教育」 ～「創立の理念」・「建学の精神」教育のあり方を考える～
	② 「国際人」として行動できる人材の育成 ～アフガニスタンを中心とした平和学習の実例～
	③ スクールカウンセリングのこれまでとこれから ～そのあるべき姿を考える～
	④ Japan Standards に基づく高大連携 英語教育カリキュラム開発の試み
	⑤ 文化としての数学は社会に貢献するか
14:40～15:00	開会行事 連盟会長代行挨拶・日本女子大学理事長開催校挨拶
15:10～16:40	基調講演「ことばのビタミン」 NHK エグゼクティブアナウンサー 村上 信夫 氏
17:00～19:00	懇親会（任意参加）

11月13日(日)

9:20～10:10	生徒発表裁判員制度について（中学3年次の年間研究） 高等学校数学自主ゼミの発表（高校2年生）
10:30～12:00	⑥ 人間力を育む自治活動
	⑦ 大学附属校におけるキャリア教育 ～社会的自立への出発点である中学校段階での取り組み～
	⑧ 附属ネットワークを活用した生徒・保護者支援
	⑨ 今後の情報教育 – ICT 教育について考える –
	⑩ 秋の植物観察
	⑪ 学校防災について考える～その時、学校はどう動くべきか～
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～15:00	パネルディスカッション 新しい人間を育む教育を考える～附属校でこそ育つ基礎力～
15:00～15:30	閉会行事・事務連絡

◆公開授業の科目・担当者・教室一覧

11月12日(土) 10:00～10:50 / 11:10～11:50

教科	学年	科目	テーマ	担当	教室	意見交
国語	中3	国語	小林秀雄『徒然草』を読む	鈴木	3階2年1組	2年1組
	高3	現代文	仮面の告白	添谷	3階2年A組	
数学	中3	数学	三平方の定理	高橋	3階2年3組	2年3組
理科	中2	第2分野	ゾウリムシの顕微鏡観察	中村礼	理科B	理科B 地学室
	高2	化学・情報	化学実験「凝固点降下」	西澤 柴田 塚田	化学実験室A	
	高3	物理Ⅱ	単振動における変位のデータの分析	藤井	物理実験室A	
社会／ 地歴・公 民	中2	歴史的分野	室町時代の文化	石田	2階3年1組	3年1組
	高3	時事問題	脱原発ゼミ！	明石	2階3年A組	3年A組
保健体育	中1	球技	バレーボール	小林	体育館	書道室
	高3	体育	基本をしっかり ソフトボール	田代	中高グラウンド	
外国語	中1	英語	分割クラスの授業	町 中尾	4階1年1・2 組	1年1組
	高1	英語Ⅰ	一步前を行く総合英語（ONE STEP	由井	4階 1年A	1年A組
	高3	ディスカッション	How to get students to talk English.	レッド バター	4階 LAW 教室	
芸術	中1	美術	張り子 『仮面舞踏会』—私の中のわたし	工藤	美術室	美術室
	高3	器楽	モーツァルト作曲 交響曲第25番 ト短調	山田 幡谷	器楽室	器楽室
技術・家 庭／家庭	中2	家庭分野	被服製作「割烹着の製作」	市川	被服室	2年C組
	高3	家庭総合	(家庭経営分野)：家族と法律	中村道	3階2年C組	

◆ 公開授業の内容

■ 「国語」：小林秀雄『徒然草』を読む(中学3年生)

吉田兼好の『徒然草』の学習を受けて評論『徒然草』の読解に挑戦しようと思います。小林秀雄が兼好の思想をどのように捉え、広げ、論じているのか。それを咀嚼し自分の言葉で説明することを最初の目標とし、最終的にはそれに対する自分の意見を述べられるようになることを目指したいと思っております。

■ 「現代文」：仮面の告白(高校3年生)

本校では高校3年の現代文で三島由紀夫の「仮面の告白」を全文授業で読みます。作品を通して人間存在の深淵を覗き、自己と他者、自意識、性的嗜好など、自己とは何かという問いへの答えを探ります。作者の豊かな語彙と膨大な知識の片鱗に触れ、苦闘しながらも読み終えることで得られるものは多い。本時は一章から二章の始まりの部分の読解が中心になるので、教員による講義形式の予定です。

■ 「数学」：三平方の定理(中学3年生)

中学校3年生の内容は2学期までで終了し、3学期は演習を中心とした中学校内容の総まとめに入ります。本時では、三平方の定理を利用したグループワークの授業をご覧ください。

■ 「第2分野」：ゾウリムシの顕微鏡観察(中学2年生)

中学2年生はほぼ毎週のように顕微鏡(双眼実態顕微鏡)を使って生物の体のつくりをミクロのレベルで観察していきます。多細胞生物の体のつくりを学んで来た生徒が、初めてゾウリムシという単細胞生物を観察し、細胞内小器官の働きや動きまで実験観察で確かめます。

■ 「化学・情報」：化学実験「凝固点降下」(高校2年生)

化学と情報科の連携授業です。凝固点降下とは不揮発性の溶質を溶媒に溶かすと、純溶媒の凝固点よりも下がる現象です。今回の実験ではパラジクロロベンゼンを溶媒、ナフタレンを溶質としPCに接続したイメージセンスを用いて温度変化をグラフ化していき、得られたグラフより凝固点を求め、凝固点降下の大きさと溶質の濃度との関係を確認します。

■ 「物理Ⅱ」：単振動における変位のデータの分析(高校3年生)

本授業では、単振動の一例であるばね振り子の振動を対象とし、距離センサーを用いた実験およびコンピュータによるデータ分析を生徒各自が行います。これらを通し、ばね振り子における周期とおもりの質量の関係、単振動の変位、速度、加速度、それぞれと時間との関係式に対する理解を深めることを目的としています。

■ 「歴史的分野」：室町時代の文化(中学2年生)

室町時代は、鎌倉や戦国、安土桃山と比べると生徒にとってイメージがしにくい時代の1つです。今回の授業では、室町時代の文化を扱います。

■「時事問題」：脱原発ゼミ！（高校3年生）

高3選択科目B「時事問題」は、4月から原発問題について考察し、個人研究発表とディスカッションを授業の柱としてきました。公開授業ではこれまでの成果をまとめ、①放射能汚染、②事故収束策、③原子カムラ、④自然エネルギーについて生徒がグループ発表を行います。その後で質疑応答の時間をとり、参観して下さった方々も含めて活発に議論したいと思います。

■「体育」：基本をしっかり ソフトボール（高校3年生）

本校では、20年位前から授業の中にソフトボールを取り入れています。危険を伴うこともあって、女子にとってソフトボールは馴染みの薄い種目です。実際に、ほとんどの生徒がグローブをはめたことがない、ボールを握ったことがないというのが実状です。このような状態の中で、まず基本をしっかりとして押さえた授業を進めていきます。

■「球技」：バレーボール（中学1年生）

「ボールを落とさないこと」をねらいとした、バレーボールの授業を行います。ボールを落とさないための基礎技術の獲得やチームでの協力の仕方などを学習内容とし、授業を展開していきます。

■「英語」：分割クラスの授業（中学1年生）

主に「Talk & Talk」（正進社）を使用し、ペアワークでの文法口頭練習、プリントでの作文を行います。

■「英語I」：一歩前に行く総合英語（ONE STEP BEYOND）（高校1年生）

UNICORN ENGLISH COURSE I（文英堂）のLesson 7 “One Step Beyond”を扱います。本教材は地雷除去活動中に右手足を失いながらも、ロンドンマラソンを完走したChris Moonの日記を読むものです。Oral Introductionから読解活動を経て、本文の行間に至るまで内容理解を深め、その後、最終活動としてのstory reproductionへと導きます。

■「ディスカッション」：How to get students to talk English.（高校3年生）

The Theory: Lots of real conversation practice is essential to improve conversational ability.

The Reality: Lots of real conversation rarely happens in class.

But, at JWU High School, Students talk English! Regularly! For a full period! Even when the teacher is not standing nearby! How do we accomplish this miracle? It's not hard. It just requires that the teacher know a few easy secrets. We'll talk about the secrets for a short while and then let the students do what they always do: have fun with English. We invite you to come watch.

■「美術」：張り子 『仮面舞踏会』－私の中のわたし（中学1年生）

可塑性のある紙を材料に、自分の顔を土台として立体造形の基礎を学びます。ボール紙の帯で実際に測りながら、顔のプロポーションを理解し、それを土台に加飾していきます。紙を貼り重ねたら、立体の形に沿った図柄を描きます。生徒それぞれが制作を通して、新しい自分の表現を発見し美術を通して「変身」「成長」することを目的としています。

■「器楽」：モーツァルト作曲交響曲第 25 番ト短調（高校 3 年生）

モーツァルトの交響曲の中で、短調の曲は第 25 番と第 40 番の 2 曲だけです。多くの長調の曲を作り続けてきた彼が、なぜ短調の曲を作曲したのでしょうか？モーツァルトの生きた時代背景や作曲の経緯を踏まえ、生徒による発表を交えながら探ってゆきます。また、第 25 番の楽曲分析を行い、作品の特徴を考えながら演奏研究し発表をします。

■「家庭分野」：被服製作「割烹着の製作」（中学 2 年生）

9 月から調理実習用の割烹着を製作しています。1 人 1 台のミシンを使用し、作業が遅れても持ち帰りはせず、作品はすべて学校で完成させます。2 時間続きの 1 時間を T T で指導をしています。学年カラー（本年は緑）のお揃いの材料なので、ポケットの装飾で個性を表現します。

中学生はセーラー服をすっぽり覆う形の割烹着を理科の実験・美術の実習・清掃の場面などでも、普段から着用していますが、これは大学創立以来のことで、記録写真にも残っています。高校・大学の調理実習まで、長く大切に使っています。

■「家庭総合」（家庭経営分野）：家族と法律（高校 3 年生）

家庭科では、民法内の家族法（第四編親族、第五編相続）について学ぶ事により、家族について法的な側面からも考えさせています。高校生にとって、「相続」はまだ身近には感じない者も多いでしょうが、いずれ直面する大切な法律でもあります。本時では、被相続人と相続人、法定相続分、遺言、遺留分等について学びます。